

令和4年度 第5回第2期和光市スポーツ推進計画策定委員会 会議録（要録）

1 日 時 令和5年3月6日（月）18時00分～19時10分

2 場 所 和光市役所 6階 602会議室

3 出席者 6名

委員名	選任の区分	備考	出欠席
◎飯田 路佳	第1号委員 (学識経験を有する者)	十文字学園女子大学人間生活学部 健康栄養学科	○
大多賀 政昭		国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部	○
横島 秋男	第2号委員 (市内関係団体を代表する者)	和光市スポーツ協会	○
○朽木 亮		和光市スポーツ推進委員連絡協議会	
冨澤 勝広		和光市スポーツ少年団本部	○
藤 律之		和光市小中学校長会	
荒木 保敏		和光市社会福祉協議会	
山崎 岩男		和光市生きいきクラブ連合会	
新井 悦子		和光市青少年を育てる会連合会	○
鷹栖 藍太郎	第3号委員 (公募による市民)		
尾野 日登美			○

◎委員長 ○副委員長

（事務局）スポーツ青少年課 鈴木課長・森谷課長補佐・小林統括主査・吉鶴主事

4 傍聴者 なし

議題1 パブリック・コメント募集の結果報告について

【事務局】

計画素案についてのご意見をいただき、委員会でのご意見を事務局にて素案に反映し、修正作業を行ったものを、年末から年始にかけて委員の皆様にご確認いただき、パブリック・コメントに向け、推進計画を固めて参りました。

パブリック・コメントの募集については、令和5年1月21日から開始し、令和5年1月22日にパブリック・コメントの募集の説明会を実施し、令和5年2月13日まで募集を行いました。

パブリック・コメントの募集については、市ホームページ及び広報への掲載の他、各スポーツ施設、各公民館、市役所にコメント募集の冊子を設置いたしました。

募集結果については、提出された意見は0件であり、説明会への参加者もいらっしゃいませんでした。そのため、策定委員会で検討、作成した案からの変更の実施はしていません。

議題1「パブリック・コメントの募集の結果報告について」は、以上になります。

【委員長】

ありがとうございます。今、事務局から説明がありましたが、いかがでしょうか。

ご意見がなければ、次に進めさせていただきます。

議題2 計画の素案の報告について

【事務局】

「第2期和光市スポーツ推進計画（素案）」について、第4回での案からの変更点を含め説明させていただきます。

説明につきましては、資料1「第2期和光市スポーツ推進計画」をもとに、前回、令和4年12月9日開催の策定委員会において、ご指摘を受けた箇所を中心に、主な修正点についてご説明させていただきます。なお、微細な文言の修正などは省略させていただき、主要な変更点にのみ絞って、ご説明いたします。また、ご説明にあたっては、「第2期和光市スポーツ推進計画」を「本計画」と呼称させていただきます。

はじめに、第1章「計画の概要」の4ページで告示している「第2期和光市スポーツ推進計画の位置付け」の図について、右下の「関連計画」に、本計画の事業に関連がある計画として「第二次健康わこう21計画」「第六次障害者計画・第6期障害福祉計画」「第8期和光市介護保険事業計画（長寿あんしんプラン）」を追記いたしました。

続いて、「6 スポーツをめぐる現状」の11ページに、「⑥運動部活動の地域移行」についての項目を新たに設け、記述を追加いたしました。

また、第2章「和光市における現状と課題」における「1 和光市を取り巻く環境」の19ページで告示している「スポーツ施設の利用状況の推移」について、説明文では、和光市全体の施設利用者の推移について記述しておりますが、告示している表は「施設ごとの利用状況」となっていたため、新たに「全スポーツ施設の合計利用状況の推移」を示す表を追加いたしました。

「2 スポーツ・レクリエーション活動に関する市民意識調査の結果」における24ページでは、これまで「スポーツをやらない理由が改善されたらスポーツをしたい人の割合」のグラフを1つのグラフとして告示していましたが、「全体」についての説明と対応するグラフ、「スポーツをやらない理由」ごとの説明と対応するグラフと分けて掲載することで、読む方に分かりやすい掲載方法となるように変更いたしました。

また、「第3章 計画の基本理念・基本方針」における48ページの「2 施策の体系」において、素案では「施策の方向性」としていた名称を、今回は「基本施策」と変更し、「基本施策」としていた名称を「具体的な取組」に変更いたしました。

また、「第4章 施策の展開」において、これまでは「基本施策」ごとにお示ししていた成果指標を、64ページの「4 成果指標」において、まとめてお示しすることといたしました。

計画本編に続いて、資料編についてご説明いたします。資料編の内容については、大まかに分けて、本計画の策定経過に関わる内容と、和光市のスポーツ施設に関わる内容となっています。ご説明に際して、下部のページ番号は資料の「資」ハイフン、ページ番号の順で表しております。

はじめに、「資-3」ページに令和4年度の策定経過を一覧表として掲載し、続く「資-4」ページからは、スポーツ推進計画策定委員会に関わる内容として「設置要綱」、「委員名簿」、

「資-6」ページからは、第2期和光市スポーツ推進計画庁内検討委員会に関わる内容として「設置要綱」、「委員名簿」となっています。

続いて、「資-8」ページからは、10月に2回に分けて開催いたしました、「和光市スポーツ推進計画策定に伴う意見交換会」の内容として、意見交換会の概要と、開催した結果として、市民の皆さまから頂いたご意見と開催の様子、いただいたご意見について、本計画への反映状況をお示ししております。

続いて、「資-19」ページでは、パブリック・コメントの実施状況を、「資-20」ページからは、本計画の根拠法となる「スポーツ基本法」を掲載しております。

最後に、「資-30」ページからは、市内のスポーツ施設や公園施設について、施設名と共に、外観写真や施設概要などを掲載しております。

以上で、前回の策定委員会においてお示した「素案」からの主な変更点の説明とさせていただきます。

事務局として、説明させていただいた計画を素案とさせていただきたいと思います。

第2期和光市スポーツ推進計画策定委員会については、素案を検討し、その結果を教育委員会に報告する事務を受け持つことになります。そのため検討した本計画を教育委員会へ報告し、3月23日に開催される教育委員会において、第2期和光市スポーツ推進計画を策定する運びとなります。

議題2 「計画の素案の報告について」は以上になります。

【委員長】

事務局からの説明を受けての意見はございますでしょうか。

【委長】

今日の位置付けは報告という事でよろしいでしょうか。今回皆さんで意見を出し合って作り上げたことは素晴らしいと思いますが、絵に描いた餅にならない事が大事ですし、書かれている内容について、その中身をどのように作っていくのかというプロセスが大事だと思うので、この計画を5年後見直した時に、こう書かれているが、実際は上手くいったところもあれば上手くいかなかったところもあるじゃないかと、5年後に検討されないという意味がないと思うので、常にこれを参照しながら、上手く進んでいるかチェックする体制が重要だと思います。前回の委員会で、その辺については庁内のワーキングでしっかりとチェックしていくという事務局からのお言葉がありましたが、その辺についてもう一度ご説明いただいてよろしいでしょうか。

【事務局】

各課でどういう取り扱いをしていくのかについては、第4章に各課による施策とあり、例えば54ページ「(3) ①家族で参加できるスポーツの充実」では、スポーツ青少年課がこういう指標で拾って、その数字を上げていくのを考えていきたいと思いますという事で考えており、その他の施策についても同様に、各課に考えていただくようお願いをする事を考えております。

実際に設定した64ページの指標については、アンケートを取らないと見えてこない部分もありますので、中間年度などにアンケートを実施し、数字を拾って、その時の状況を見て、また考えていけたらと思っております。

【 委員 】

64 ページの指標一覧がキーとなりモニタリングをしていくことになると思いますが、全体を通じてスポーツを巡る人材の状況が厳しいというのがあり、その中でキーとなるのがスポーツ推進委員の活動を充実させ、市民に対して認知度を上げていくということに、私は注目しているのですが、64 ページの指標 12 で、現状値が 16.5%に対して、目標値が 30.0%と意欲的な設定になっていますが、これで何をやるのかと見れば、あまり書かれていなくて、63 ページの下段に研修を実施するという事と、市民に浸透を図りますという程度で、今のままでいくと、こんなには上がらないと思うので、すごく活性化させるような内容をイノベティブに考えていかなければいけないと感じているところです。この辺りの具体的な内容について、アイデアがあればお聞きしたいというのが 1 点です。

あと、今日の事務局からの説明で 11 ページの運動部活動の地域移行について、中身に具体的に何をやるかというのが、一切書かれておらず、今のこのスポーツに関する状況に対して、何か対応策を考えているのかをお聞きしたいのが 2 点目です。

3 点目は、41 ページから 43 ページを読むと、今の置かれているスポーツに関する状況がすごくよく分かるので、納得しながら読んでいたのですが、厳しいことが書かれていて、例えば 43 ページ(4)①スポーツに取り組む機会の創出ですが、アンケート結果で、市内の施設よりも、市外、県外で取り組んでいる人が多くなっていると書かれていて、インフラが市内に少ないことが読み取れます。その辺りの解決策をこの計画で光明が見えたらいいなと思ったのですが、残念ながら書き込みづらい状況があるので、難しいと感じています。また、スポーツの普及をしていきたいと思いますというところで、21 ページの下段に、和光におけるスポーツを行っている人の割合を経年的に見ていくと、平成 24 年で 34.7%、平成 28 年で 33.6%となっていて、今回簡単な運動、散歩、家で体を動かすゲーム等を入れると、66.8%になりました。これを抜くと 28.9%に下がるのですが、これは和光の条件が悪いのではなく、コロナによる体を動かすことに対する考え方が変わった結果なのかなという風に思っています。こういった状況を踏まえて、家や散歩等、身近な所で体を動かせるような普及啓発や、市内のスポーツ施設の情報発信をすることによって、新しい体の動かし方を普及啓発することが大事なのではないかと、そして、普及啓発を図るために SNS を使う事が、今回の計画で重要な事ではないかと考えていますが、市の方で何か考えていることがあれば説明をお願いします。

【 事務局 】

63 ページのスポーツ推進委員については、目標値の設定が難しいところもありますが、活動の活性化による認知度の向上に対して、希望も含め、30%と設定させていただきました。

【 委員長 】

スポーツ推進委員になるには、どうすればいいのですか。任期などあるのですか。

【 事務局 】

公募で、2 年の任期になります。いま現在は 14 名の方に活動していただいています。

【 委員長 】

認知していただくのに、周知をするということではなく、こういうのになってみませんか、参加を促すことが、「スポーツ推進委員にどうやってなるの」とか、「こういう仕事があるのね」とか、「やってみたいわね」とアプローチできるのではないかと思います。

定員がある理由は予算の関係があるのですか。

【事務局】

スポーツ推進委員につきましては、どこの市町村でも設置していますが、市町村によって活動していただく内容が様々で、大きい所だと140名ほど推進委員がいる市町村もあります。活動内容も様々ですが、多いのは学校開放の開放指導員で1つの学校に7人の推進委員がいる所もあります。活動の仕方は市町村によって決まっていて、和光市の場合は、スポーツ教室や市民体育祭、市民ハイキング等の事業をお願いしています。市の規模からすると、15名程度が適正ではないかという事で、お願いしているところです。

【委員】

例えば地域福祉計画だと、民生委員・児童委員という地域の名誉職の方がおられ、様々な活動をしておられたり、地区社協といって、福祉に関する様々な活動を住民主体でやっていこうという動きがあるので、例えばそういう動きと連動しながら、スポーツ界として、スポーツ推進委員とコラボして、地域ごとのお年寄りや、福祉活動と共にやっていったり、子ども子育て支援計画でも担い手不足が言われているので、学校とコラボしてイベントをやっていくとか、生涯スポーツを進めていくことが出来ればいいと思いました。

この資料編のワークショップでも、学校PTAとの連携というのが書かれているので、そういった意見を参考にしながら、学校教育とのコラボの中で、スポーツ推進委員を積極的に展開できる施策ができればいいと思いました。

【事務局】

スポーツ推進委員については、地域の方からの依頼を受けて、スポーツ指導を行う、一緒に行うという形は取れているのですが、その部分も周知不足というところがあるので、ご指摘いただいた推進に向けて、働きかけていければと考えています。

【委員長】

スポーツ推進委員について、他に何かありますか。なければ2点目についてお願いします。

【事務局】

2点目、運動部活動の地域移行について、こちらにはあくまで全体像の話しか書き込んでいないというのが正直なところです。この部分については、方向性がまだ固まっていなくて、部活動は学校教育の話の部分があり、生徒・保護者の意見やアンケートを取る予定になっています。そういった経緯を踏まえ、計画が成り立つ形になりますので、今は全体の話を書き込んでいくところになります。

【委員長】

確かこの議論の時に、計画書に載せるかどうかの話が出たと思いますが、始めは記述をしない方向だったのですが、時代の流れとして記述をしておこうという話だったので、このような形になっていると理解しているのですが、いかがですか。もし疑問に持たれるような書き方になっているのなら、この時代の流れの上で、今後を見据えていきたいとか、

そういった一文が必要かもしれません。

【 委員 】

データでは小中学校対象調査について、31 ページから 35 ページまで載っているのですが、具体的にやる内容は書かなくても、データを取ってモニタリングをされていて、時代的な流れを書いていますという事でいいのですが、今発言をしているのは、それを踏まえた今後、動きが出てきた時に、地域計画のモニタリング事項として重要な部分であるということです。ちなみに 41 ページの下段に、子どものスポーツ機会の充実というのが、分析の中で書かれています。全国的に体力テストは低下しているのですが、学校教育におけるスポーツの機会を盛んにしなければいけないという事が書いてあるので、これを拾うような具体的な対応策が求められるところですが、おっしゃるように、どうなっていくか分からない現状においては書けないというのは分かるので、動きが出たところで、市としてどういうサポートをしていくのか、新しい支援策が必要なのか、考えていかなければならないと思いました。

【 委員長 】

部活動の地域移行については議論中で、私も色々と参加させていただいていますが、一部には、運動する子が減ってくるかもしれないという予測もされていると認識していますが、そういった意味では、引き続きモニタリングをすることで、子ども達をサポートすることを忘れないようにするというような内容を加えたらいいのかなと思いました。

【 事務局 】

部活動の地域移行については、まだ方向性が和光市としては見えていない、国の方も見直したりする方針もあるので、国の動向も見ながら、今後どうなっていくのかという中で、運動部においては、スポーツという事で深く関わりがありますので、学校教育の現場と適宜調整をとりながら、学校のスポーツ教育の充実が図れるように対応していきたいと思います。

【 委員 】

11 ページの表記については、今はこのようになるという事で理解しますが、41 ページの課題については、今現状の課題は、教育委員会がある程度把握されていると思うので、そういうものがあれば、ここに記入があれば良かったのではないかと思います。当初は 4 月から移行するという話があって進んでいたと思いますが、課題があったと思うので、現状の課題を載せておくと、整合性があった良かったのかなと思いました。

【 委員長 】

今の時点ではこれだけでも、5 年後を見据えて、その間何をするかということに関して、記述をし続けて、それを 5 年後に振り返りながら、次の計画に盛り込んでいくという姿勢が、PDCA に繋がっていくのではないかと感じておりますので、大変貴重なご意見をありがとうございます。

3 点目の質問に対して、事務局よろしいでしょうか。

【 事務局 】

3 点目の SNS を利用した情報の発信について、実際和光市の中でも、twitter であったり、LINE での発信はしていますが、何度も発信してしまうと、しつこいように感じられて

ブロックされてしまうという話も一部ではあるので、こういった形で運用していけば良いのか悩んでいる部分もあります。指定管理者が運営している施設については、SNS を積極的に活用している部分もありますので、そこの連携を取りながら、適切な情報発信をしていければと考えています。

【 委員 】

資料の 17 ページに「広報わこうのスポーツ版を作成できれば、多くの施設を発信できる」と書いてあります。広報わこうの 3 回に 1 回、スポーツトピックの枠をもらうとか、1 枚別刷りを入れるとか、そういうアナログな方法もいいのかなと思いましたので、同じように SNS の流れの中で、スポーツに関するトピックも発信していくことが重要だと感じていたので、是非よろしくお願いします。

【 委員 】

このスポーツ推進計画についての問題は、進捗管理をどうやって行うのかというのが一番だと思います。市の上位計画の中に、振興計画や実施計画というのがありますから、そこに事業立てをして、この計画を受けてどういう事業を行えばいいのかというのが、計画を推進する上で一番の課題だと思います。それが 5 年後に現れて、次の計画に生きていくと思うので、毎年の計画の検証・進行管理をどうやって行うのか。

あともう 1 点心配しているのは、資料 19 にパブリック・コメントの欄があって、説明会を実施したけれども、参加者がゼロで、パブリック・コメントも実施したけれども、意見がないというのを懸念していて、市民の声がどれだけ反映されたのか、疑問が出てくる場所かなと思っています。どなたの意見もなく、委員の中で計画を作って、完成したと取られてもおかしくないと思うので、できればスポーツ団体の意見が入っているとか、そういう方法もあったのではないかと思います。

【 事務局 】

進捗管理について、施策については、各課にその時々現状を聞きながら、というところになります。目標設定については、各課にお願いしているので、改めて確認を取りながら、進めていただき、スポーツ青少年課で取りまとめていきたいと考えております。

もう 1 点、パブリック・コメントの募集について、説明会の参加者や意見がなかったという記載になりますが、市民の意見という意味合いでは、意見交換会で多数の方が参加していただき、意見を聞いておりますので、策定委員会だけではなく、広く意見を拾えたと、事務局としては理解しています。

【 委員 】

各課の事業立てについて、今説明がありましたが、この計画自体が令和 5 年度から進んで行くのに、今の段階で各課に事業立てについてお願いしている形だと、令和 5 年度は予算も付かなくて、事業もなければ何も進まず、1 年遅れのスタートになると思うので、何らかの対応をした方がいいと思います。

【 事務局 】

計画に記載している各課施策については、実施し進捗管理を図っていくという話はさせてもらっているのですが、予算の関係との整合性がどこまでかは分かりませんが、各課での意見としては吸い上げた形で、事務局としてはある程度実施していただけるという理解のも

と、提案していただいたと考えておりますので、令和５年度から実施してくださいとお願いしたいと思います。

【委員長】

新規に事業を立ち上げなくても、これまでやってきたものと、計画に載っている考え方を上手につなげることが、この計画を利用することにもつながるのではないかと考えています。67 ページ（３）全庁的な推進体制で、「各担当所管課における計画の取組状況の把握に努めます。」と記載されていますが、具体的にどうすれば５年間分積み上げていくのか、部署の人がもし変わったとしてもつなげていくということが課題と思います。計画は出来上がったかもしれませんが、それぞれの文言の解釈として質問された時に、答えることができる形の準備は必要だと思いました。

【委員】

今のお話で、このページがこれから大事なところで、全体から見た時に、このページが寂しいという感じを受けてしまうので、何も書くことがないということであれば、少し付け加えればよいと思います。決まっていない事は書けないと思いますが、どのように進めていくのか、その時に最小限何が必要なのか、方向性と１つ目があれば、いい形になるのではないかと思います。

全体の中でもよく出てくるスポーツ施設の問題は根本的で、大きく影響しているように思います。計画としてはよくできていると思いますので、例えば利用者が使いやすい、行きやすいとか、プロが使えるとか、公式戦を呼べるとか、そういう視点でものづくりを行っていく必要があると、常々感じていました。今まではとりあえず、ないよりはあった方がいいという事で、施設づくりをされてきたと思いますが、これからは視点を変えて、たくさんの人に使ってもらえるような、プロも公式戦も呼べるのが、中身を変えていくのではないかと、スポーツ体制・環境がどんどん活性化していくのではないかと思いますので、それはお願いとして申し上げます。これから施設を新しく造る、修理する場合に、我々スポーツ協会も連盟を抱えておりまして、ある程度分かっている人材がいますので、ご意見を申し上げることができる状況にあると思います。「これは公式戦には使えないな」という話を耳にすることがあり、使う人が制限されるのはどうかと。これからは新しい視点で、より使ってもらえるような、より人を呼べるようなものを作っていくのが効果的であると感じています。よろしくお願いします。

【事務局】

スポーツをする場所として、施設が重要な要素になると、事務局の方でも考えています。現在スポーツ施設はいくつかありますが、アンケートを見ると、満足いくものではないという結果なので、少しでも改善できるような形で調整を図りたいと考えています。

【委員長】

事業立てをする際に、どの部署からどのように事業立てをすることになるのか教えてください。

【事務局】

こちらに書かせていただいている事業は、各課で例えば福祉の部分であれば、高齢者の健康維持のためのものだったり、介護給付費との関連の中で、低減させるための１つに

スポーツが含まれていたりするので、スポーツ青少年課からこのような事業をしてくださいとオファーして挙がってくるものではなく、各課がもつ、スポーツ分野にリンクした事業が挙がってきた結果が、この内容になっています。

【委員長】

各課が出してきたものなので、スポーツ青少年課が提案をしないまでも、進捗状況を確認したり、例えばこのイベントとこのイベントを一緒にやったらどうですかと、色んな課をつなげる役割を果たすことが、この計画が提言していることに、最終的には繋がるのではないかと。それぞれの課は目的が違うけれども、スポーツ青少年課が串刺しをしていく役割を担う事になるのではないかと思います。そして私達策定委員は、それらをサポートする立場になるので、そういう想いをもって、皆で一緒に作り上げていくことが大事だと理解しております。

【委員】

1つ思うのは、我々は計画の策定委員会で、この推進計画を作りましたが、実際やるのは各課であって、それをチェックするのはスポーツ青少年課になるので、我々はこの計画に沿って事業がしっかり行われているのかチェックできないので、その部分で何か関わる事ができれば、もっとよりいいものができるのではないかと。例えば1年に1回チェックする機会を設けるとか。そうすると5年間のうちの1年目、2年目は、この反省を踏まえて、この計画に進みなさいよというチェックも、外部としてチェックできるのではないかと思います。これは1つの提案です。

【事務局】

今のお話は、外部による評価という貴重なご意見になると思います。他の計画において、外部委員を入れて評価しているというものも、実際にはあるのですが、スポーツ推進計画としては、内部のチェックで終わっているのが実情になります。今貴重なご意見を頂きましたので、これは、あくまで個人的な意見ですが、例えばアンケート調査を行った年で、数字が見えてきた時に、策定に関わって下さった委員の方に、現状の報告を行う等ができればいいと思いました。貴重なご意見として承らせていただきます。

【委員長】

すごく大切なご意見で、関わって下さった責任という意味で、大事なことだと思います。ご感想でも、何でもいいので、何かありましたらお願いいたします。

【委員】

感想という事で、計画を作るだけではなく、実施していくこと、その過程が大切なので、チェックは必要だと私も思います。

あと、施設の利用料金が他市に比べて高いので、利用料金の見直し等もしていただけると、もう少し施設が使いやすくなるのではないかと思います。

【委員長】

ありがとうございます。

【委員】

私は今回、初めて参加させていただいて、色々な皆さんのお話を聞きながら、勉強をさせていただいているという段階です。私自身も何ができるか、どういう事が始められるか

考えながらお話を聞かせていただきましたが、先程のお話にあったように、公式試合が出来るような施設が和光市にあればいいのではないかとということで、前回のお話にもあったような、観るスポーツにつなげていけるのではないかと感じました。あと、和光の総合体育館のメインアリーナ・サブアリーナという施設がありますが、メインアリーナは分割して借りることができるのでしょうか。あれだけの広い施設を借りるとなると、使用料もかかるので、分割して借りれるといいのではないかと思います。

私自身としては、和光市の色んなイベント等には、出来る限り協力させていただきたいと思いますし、子ども達のチアチームを持っていますので、これから成長していく子ども達に、色んな面で大きな体験として、何かあれば協力したいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

【事務局】

総合体育館のメインアリーナについては、半面や3分の1の利用の設定があります。今のお話の全てに通じる所は、利用時間や料金の設定等、設定した時と時代が変わっているので、適宜見直していきたいと思います。

【委員】

毎年スポーツ青少年課の方でモニタリングをされるという事ですが、これまでの指標が37ページにあって、これからの指標は64ページに設定し直したので、64ページに沿ってモニタリングを行うと思うのですが、アンケートを取らないとわからない項目が結構あって、アンケートを取らなくても把握できる指標3・5・6については、数値を取れると思うので、ここは毎年経過を追って、課内で37ページの様な表を作って、上手くいっているのか管理してもらって、例えば△や×が付いた場合に、重点施策を考えて、手を打つかどうか検討してもらいたいと思います。5年後に蓋を開けてみたらこうなっていました、というのは避けたいので、モニタリングをする委員会がなければ、毎年見直してもらって、見直し方も今言ったように、しっかりと取れるデータの中で、上手くスポーツの振興がなされているか、しっかりと見て、それによって新規事業を考えてほしいと思います。そしてそれは、課内の中で立てられる事業なのか、責任をもって出してきた所に、てこ入れをして、一緒にスポーツ色を濃くする新規事業を立てましょう、と検討していく事が、毎年のモニタリングだと思うので、しっかりやって欲しいと最後にもう一度だけ言っておきます。

【事務局】

64ページの成果指標については、アンケート調査がいくつか入っている形になるので、毎年数字が取れるものではありませんが、一方で前段階である各課施策については、状況確認は毎年できるので、そちらの進捗が図れていれば、自ずと64ページの成果指標も、直接リンクはしないとしても、上がっていくと思いますので、状況を見ながらモニタリングを進めていきたいと思います。

【委員長】

他に何かございませんか。

皆様の貴重なご意見ありがとうございました。皆様のご協力により、全ての議題についての協議が終了いたしました。これを持ちまして本日の策定委員会の議長の職を降ろさせ

ていただきます。

事務局の方、今後についてのお話をお願いいたします。

【事務局】

第2期和光市スポーツ推進計画の策定委員会での検討については以上になります。無事終了できたこと、委員の皆様のご協力、誠にありがとうございました。長期間にわたり、色々ご対応いただき、本当に感謝しております。

最後に、教育委員会事務局スポーツ青少年課長の鈴木より、一言ご挨拶させていただきます。

【課長】

皆様には、ほぼ一年間ご協議いただいて、事務局としても大変気づかされるが多かったと思っております。今もご意見をたくさんいただきましたけれども、せっかく作りあげた計画ですので、この5年間でスポーツを推進していく指標として、スポーツ推進にこれからも努めていきたいと思っております。この度はどうもありがとうございました。

【事務局】

以上をもちまして、第5回第2期和光市スポーツ推進計画策定員会を終了させていただきます。計画の検討にご尽力いただき、誠にありがとうございました。